

2015年10月5日

2016年5月期第1四半期決算補足説明資料



1. 2016年5月期第1四半期実績

1-1. 2016年5月期第1四半期 事業環境

1-2. 2016年5月期第1四半期 経営成績

1-3. 2016年5月期第1四半期 (前期比)売上・営業利益

2. 2016年5月期第1四半期 各セグメントの取り組み

3. トピックス

3-1. 三協立山 **「JPX日経インデックス400」**に追加

3-2. 三協立山 **「機関投資家向け説明会」**開催

3-3. 三協アルミ **「アルジオ(ALGEO)」**プレス発表会開催

3-4. 三協アルミ 3商品が**「グッドデザイン賞」**受賞

3-5. 三協アルミ **「リフォーム産業フェア2015」**に出展

3-6. 三協マテリアル **「小型風力発電用ブレード」**を製品化

3-7. タテヤマアドバンス **「サイン&ディスプレイショウ」**に出展

3-8. タテヤマアドバンス **「ポリゴニウム」**をTOYAMAキラリに納入

3-9. 三協アルミ **小学生を対象としたイベントの開催**(女性推進WGの活動)

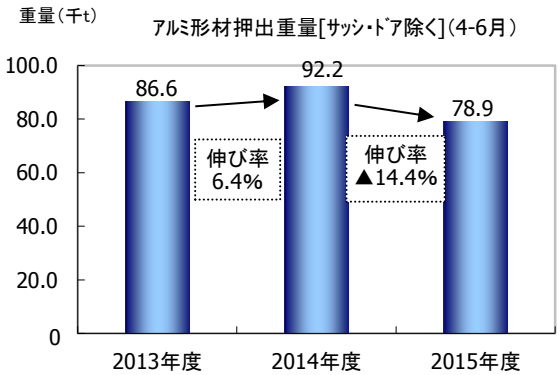
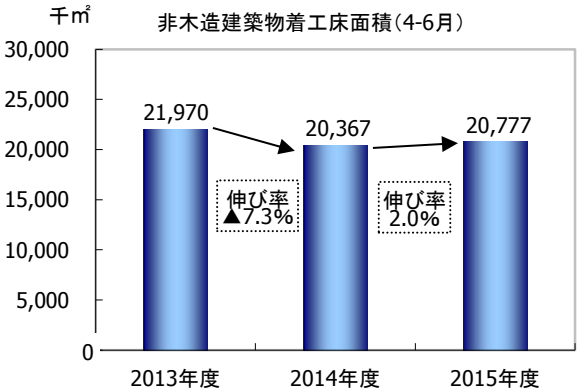
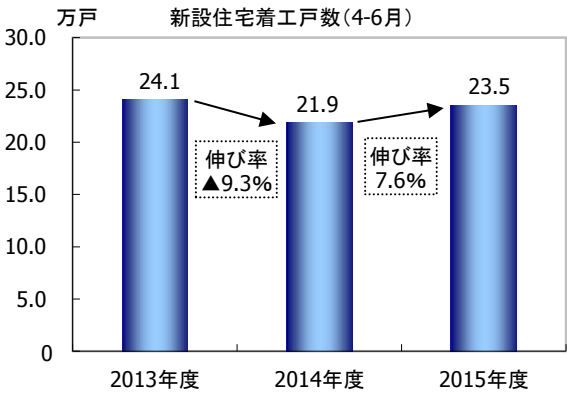
3-10. 三協立山 **「ツインリーフの森づくり」**下草刈活動を実施

◇市場環境

市場環境	2013年度	2014年度	2015年度
新設住宅着工戸数(4月-6月) ※建材事業（住宅）指標	24.1万戸	21.9万戸 (前年比9.3%減)	23.5万戸 (前年比7.6%増)
非木造建築物着工床面積(4月-6月) ※建材事業（ビル）指標	21,970千㎡	20,367千㎡ (前年比7.3%減)	20,777千㎡ (前年比2.0%増)
アルミ型材押出重量[サッシ・ドア除く] (4月-6月) ※マテリアル事業指標	86.6千 t	92.2千 t (前年比6.4%増)	78.9千 t (前年比14.4%減)
アルミ地金[日経平均] (4月-6月)	242.6円 ／kg	259.1円／kg (前年比6.8%増)	299.0円／kg (前年比15.4%増)

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、企業収益の改善や新設住宅着工など消費増税による需要反動減からの持ち直しの動きも見られたが、個人消費は本格回復に至らず依然弱含みで推移した。また、為替相場の円安基調継続を背景として輸入原材料価格は高止まりする一方、アルミ地金市況は足元で下落傾向となるなど、先行きが不透明な状況となっている。

建材	建材市場は、消費税率引き上げ後の駆け込み需要の反動減などを背景とする新設住宅着工戸数の減少が回復し始めた。
マテリアル	アルミニウム型材及びビレット市場は、輸送、一般機械分野での需要が堅調に推移した一方、電気機器分野の需要が減少した。
商業施設	商業施設市場は、コンビニエンスストア・ドラッグストアなどの需要が堅調に推移した一方、専門量販店の新規出店・改装需要が減少した。
アルミ地金	アルミ市況価格は、2014年11月をピークに現在まで下落傾向となっている。



1-2. 2016年5月期第1四半期 経営成績

(単位：億円)

	2015年5月期 第1四半期実績	2016年5月期 第1四半期実績	前年同期比	
			増減	%
売上高	670	792	121	18.2%
売上総利益	170	157	▲ 12	-7.4%
売上総利益率	25.4%	19.9%	-	-5.5p
営業利益	29	1	▲ 28	-94.9%
営業利益率	4.5%	0.2%	-	-4.3p
経常利益	29	1	▲ 28	-96.5%
親会社株主に帰属する四半期純利益	24	▲ 0	▲ 25	-

※金額・率は切り捨て表示

〈売上高〉 建材事業、商業施設事業で減収の一方、マテリアル事業の増収、国際事業の追加により前年同期比18.2%増となった。

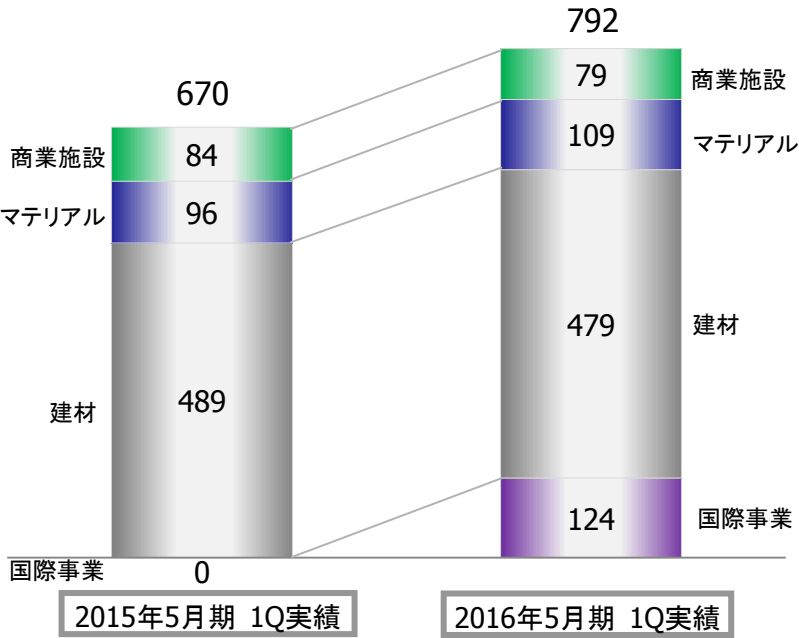
建材事業	販売網の強化、リフォーム需要の取り込みなど諸施策を推進したが、前年度発生した関東地区雪害対応の売上反動減の影響、主要原材料であるアルミ地金の前年度からの高値影響、競争激化が続いたことなどにより、売上高479億13百万円(前年同期比2.1%減)、セグメント損失2億5百万円(前年同期は17億57百万円の利益)となった。
マテリアル事業	輸送・一般機械分野での需要の取り込み、平成26年9月に子会社化した三協サーモテック株式会社の連結売上などにより、売上高109億48百万円(前年同期比13.3%増)となったが、電気機器分野の需要減少などにより、セグメント利益6億32百万円(前年同期比21.0%減)となった。
商業施設事業	コンビニエンスストアや専門量販店を中心とした拡販に注力したが、前年度の小売業などの経営統合関連の需要が一段落したことなどにより、売上高79億84百万円(前年同期比5.3%減)、セグメント利益2億85百万円(前年同期比49.2%減)となった。
国際事業	堅調な自動車、航空機分野の需要や伸張するASEANでの建材分野の需要取り込みなどにより、売上高124億6百万円となったが、欧州での鉄道分野の競争激化、M&Aによるのれんの償却負担などにより、セグメント損失5億53百万円(前年同期は14百万円の損失)となった。

〈営業利益〉 コストダウン・効率化等の収益改善を推し進めたが、新商品にかかる販売促進費などの費用の増加、アルミ地金価格の高止まり影響や競争激化などにより、前年同期比94.9%減となった。

1-3. 2016年5月期第1四半期 (前期比) 売上・営業利益

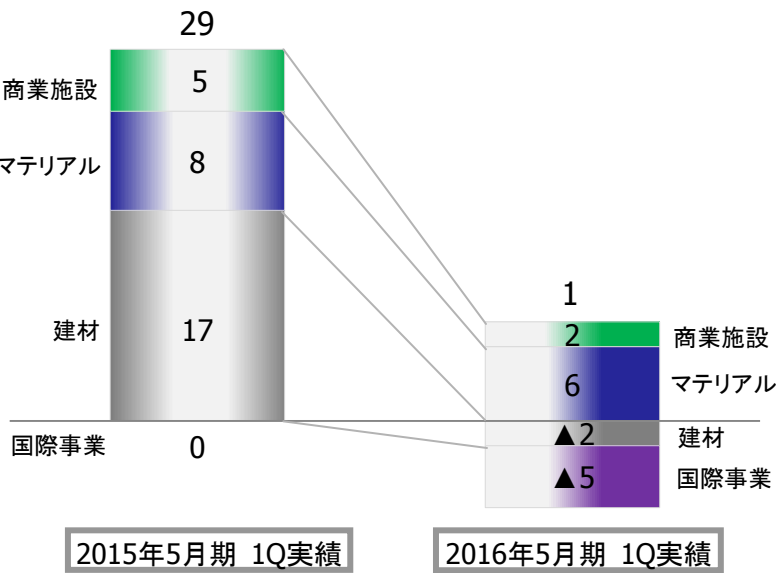
■売上高

(単位：億円)

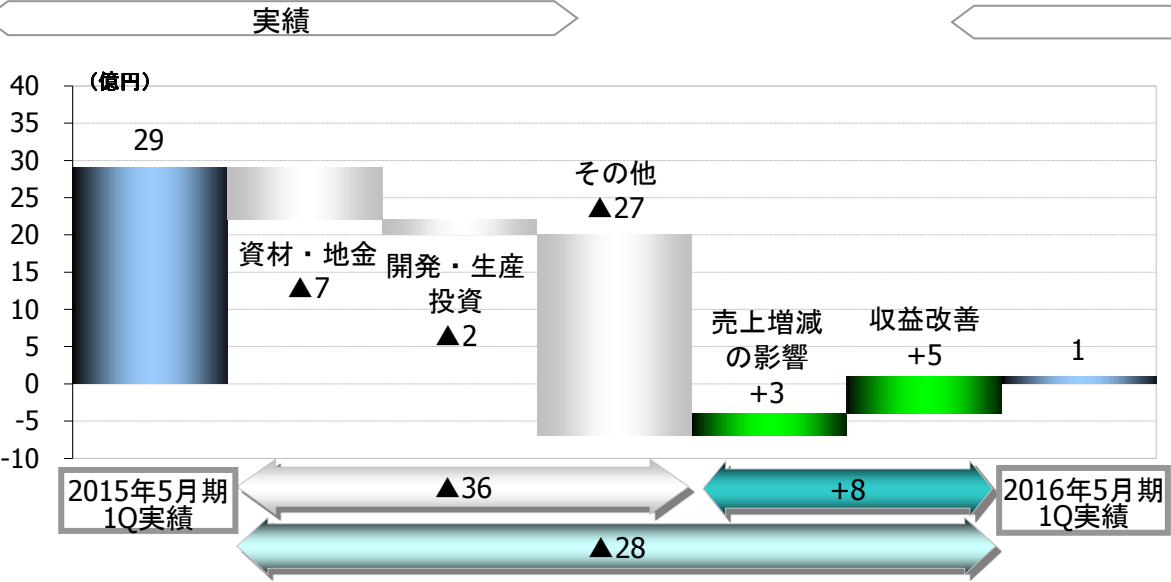


■営業利益

(単位：億円)



■営業利益
変動内訳



- ※その他の主な内訳
- ・ 宣伝広告費 ▲4億円
 - ・ のれん償却 ▲2.5億円
 - ・ 貸倒引当増加 ▲2.5億円
 - ・ 国際事業 販売管理費 ▲9.4億円 など

※金額は切り捨て表示

外部環境の変化に柔軟に対応する体制を構築するとともに、成長分野への展開と収益の向上を図る。
（当連結第1四半期においては、期初に計画の取り組みを推進）

セグメント	項目	概要
建材事業	販売基盤の強化	エリア戦略の推進と販売力の強化 競争力のある商品開発（トピックス3-3, 3-4参照）
	成長分野への攻勢	改装・リフォームの提案力強化、競争力のある商品化の推進（トピックス3-5参照） リフォームネットワークの強化
	原価低減の追求	外部環境に柔軟に対応する生産体制の構築、徹底した効率化によるコストダウンの推進、最適調達網の構築
マテリアル事業	各拠点の基盤整備と販路の構築	グローバルサプライヤーとしての基盤整備の推進 優位性のある技術と市場分野の効率的な融合推進（トピックス3-6参照） 子会社の経営管理体制の強化
商業施設事業	事業領域の拡大と供給体制の強化	競争力のある開発・生産供給体制の構築 営業品質向上と顧客満足獲得による領域拡大（トピックス3-7, 3-8参照） 国内の技術を生かした中国・北米・ASEANへの販売拡大
国際事業	基盤整備	新たにグループ会社となった欧州及びタイ子会社のシナジー創出に向けた基盤整備（トピックス3-2参照）

3-1. 三協立山 「JPX日経インデックス400」に追加

「JPX日経インデックス400」に三協立山が追加

——投資家に魅力の高い銘柄400社

8月7日、日本取引所グループより「JPX日経インデックス400構成銘柄入替一覧」が発表され、2015年8月31日の入れ替えて、三協立山が追加された。

◆JPX日経インデックス400とは

資本の効率的活用や投資者を意識した経営観点など、グローバルな投資基準に求められる諸要件を満たした、投資者にとって投資魅力の高い会社で構成される新しい株価指数。これにより、日本企業の魅力を内外にアピールするとともに、その持続的な企業価値向上を促し、株式市場の活性化を図ることを狙いとして、2014年より開始された。

名称	JPX日経インデックス400（JPX-Nikkei Index 400） （略称：JPX日経400（JPX-Nikkei 400））
算出者	株式会社日本取引所グループ／株式会社東京証券取引所 及び株式会社日本経済新聞社
構成銘柄数	400銘柄
対象	東証上場銘柄（市場第一部、市場第二部、マザーズ、JASDAQ）
算出開始日	2014年（平成26年）1月6日 （東京証券取引所の相場報道システムからリアルタイム（1秒毎）で配信）
起算日・基準値	2013年（平成25年）8月30日・10,000ポイント

（引用：日本取引所グループHP：<http://www.jpx.co.jp/markets/indices/jpx-nikkei400/>）

「機関投資家向け説明会」を開催

——70期決算、VISION2020および新中期経営計画などについて説明

- 開催日：2015年7月22日
- 開催場所：大和コンファレンスホール（東京都千代田区）



機関投資家54名が参加



三協立山社長／
山下清胤



タイメタルアルミニウム代表／
スパット・ラタナシリビライ氏



STEP-G代表／マイケル・ジント氏

三協立山社長・山下より70期決算概要、VISION2020および新中期経営計画、海外展開の概要について説明。また海外子会社より、STEP-G代表・マイケル・ジント氏およびタイメタルアルミニウム代表・スパット・ラタナシリビライ氏が出席し、会社の概要やSTグループ企業としての今後の方針などを説明しました。

新アルミ樹脂複合サッシ「アルジオ (ALGEO)」 プレス発表会

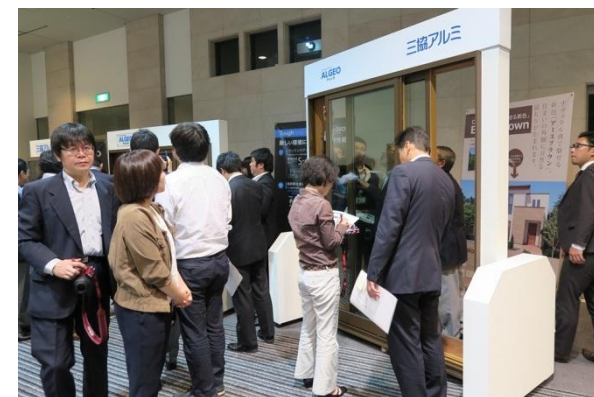
——性能や使いやすさなどの商品特長をPR



刷新ポイントをPR



報道関係者38名が参加



サンプル品展示コーナー



●代理店向け体感会も実施

住宅事業部と各支店が連携し、アルジオの認知度向上と現物を「見て」「触れて」商品の良さを体感いただくことを目的に、全国で体感会も実施中。

高断熱、高耐久性に加え、操作性やお手入れのしやすさを兼ね備えた商品特長をPR。開発経緯や販売方針についても説明を行いました。「次世代スタンダードサッシ」と位置付け、発売から10年のマディオシリーズに代わる基幹サッシとして展開していきます。

3-4. 三協アルミ 3商品が「グッドデザイン賞」受賞

3商品が2015年度グッドデザイン賞受賞

——新アルミ樹脂複合サッシ「アルジオ(ALGEO)」、バルコニー「コーデリア<横格子>
<ルーバー格子>」、フェンス「S. ボーダーシリーズ<リングリング> <エアブロック>」



評価Point

引違い窓の下枠をフラットにし、スッキリした印象のデザインであり、お手入れのしやすさが実現されている。



横格子

バルコニー
「コーデリア」



ルーバー格子

新アルミ樹脂複合サッシ
「アルジオ(ALGEO)」

評価Point

リビングの延長として考えられたバルコニー。外からの視線を遮りながら、風を採り込み、子供の足掛けにもならないよう配慮されている。

フェンス
「S.ボーダーシリーズ」



リングリング



エアブロック



評価Point

塀とは隔たるものと思いがちだが、敷地と道路を区切ると同時に繋ぐものと考え、設置されるだけで完結しない住人が関わることをささやかに演出する。

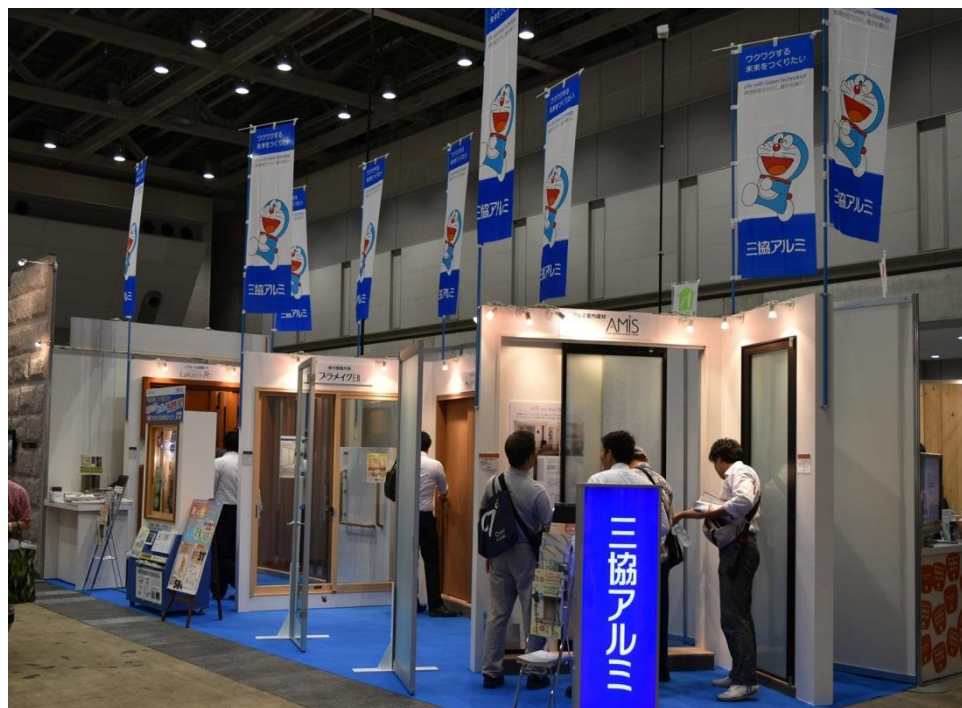
◆グッドデザイン賞

1957年に通商産業省（現経済産業省）によって創設された「グッドデザイン商品選定制度」を継承し、1998年より公益財団法人日本デザイン振興会が主催する、総合的なデザインの評価・推奨制度です。これまで、約60年にわたり、私たちの暮らしと産業、そして社会全体を豊かにする「よいデザイン」として、約42,000件が受賞されています。

「リフォーム産業フェア2015」に出展

——リフォーム玄関ドア・引戸、インテリア建材など展示

リフォーム玄関ドア・引戸、プラメイクEⅡほか、新型AMiSを含むインテリア建材など、計9点を展示



三協アルミブース



アルミモダンインテリアシステム「AMiS」について説明

◆リフォーム産業フェア

住宅設備・建材、営業・業務管理サポート商品などが一堂に出展する展示会。リフォーム事業者、工務店、ハウスメーカー、ゼネコン、ディベロッパー、不動産会社、商社・流通会社、住宅設備・建材メーカーなどを対象に開催されており、今年で18回目の開催。今回は約240社が出展、約24,000人が来場しました。

小型風力発電用ブレードをアルミ押出成型で生産

——風力発電の一層の普及と効率向上に貢献

技術的な制約のため、部材が薄くなるほど難しくなる
アルミ押出成型において、薄さと強さの両立を実現



流線型の断面



<使用例>

富山市ファミリーパーク ▶

2013年4月から約2年間の試行錯誤を経て、軽かつ十分な強度を持つブレードを成型することに成功しました。垂直の軸に4枚の縦型ブレードを取り付けて回転させるタイプで、一般的に普及している風車型のものに比べ、弱い風でも回り、音も小さく、さらに設置スペースも小さいなどの利点があります。軽い・錆びにくい・リサイクルが容易などのアルミの優れた特性を生かし、今後も様々な製品開発にチャレンジしていきます。

「第57回 サイン&ディスプレイショウ」に出展

——大型ブースで新商品「アドビューアッパー」などを展示

タテヤマアドバンス設立後、毎年出展しており今年で10回目の出展。9月に発売した外照式サイン用LED電装ユニット「アドビューアッパー」をメインに、薄型内照式LEDサイン「ポスタンド」や「アドパック」、また参考展示として、アドビューとロールスクリーンの一体構造の「アドビューバナー（仮称）」など多数商品を展示した。



◆サイン&ディスプレイショウ

サイン・ディスプレイの製作、施工に必要な資材、素材および加工機器などの関連商品全般や最新技術などが一堂に出展する業界最大の展示会。各社製品の情報提供・認知の場として毎年開催されています。今回は138社が出展し、3日間で約30,000人が来場しました。

TOYAMAキラリ内の「ミュージアムショップ」に「ポリゴニウム」を納入 ——商品ディスプレイ台・接客カウンターに使用

アルミ型材製のディスプレイシステム。内部や側面などに杉材の薄板を
接着した、アルミニウムと木のコラボレーション製品



商品ディスプレイ台・接客カウンターとして使用

◆TOYAMAキラリ

ガラス美術館や図書館、カフェ、ミュージアムショップなどを併設する複合施設です。2015年8月22日、富山市にて全館オープン。世界的建築家であり富山市の政策参与でもある隈研吾氏が設計を手掛けました。今回納入したポリゴニウムは、ミュージアムショップにて使用されます。

女性推進WG主催「なつやすみ親子工作教室」「未来のとびらコンテスト」開催

なつやすみ親子工作教室



受付をする女性社員たち



木の実や貝殻などを使って工作



午前の子・午後の子で
計約100組の親子が参加

未来のとびらコンテスト

1～3年生の部 金賞作品



小学生が思い描く
「未来のとびら」
を募集。
全国から約2000点
の応募をいただき
ました。

4～6年生の部 金賞作品



◆女性推進WG（ワーキンググループ）

昨年、「ドラえもん」の施策展開を機に発足。昨年に引き続き、今年も「なつやすみ親子工作教室」「未来のとびらコンテスト」の2つのイベントを開催しました。今後も女性目線を生かしたイベントや企画を多数予定しております。

「ツインリーフの森づくり<第7回>」下草刈活動を実施

——高岡市と締結した「企業の森づくり」へ参画



一昨年と昨年に植樹した苗木の周囲に生えた下草やつるを刈り取った



社員とその家族ら28名がボランティアで参加

◆ツインリーフの森づくり

2013年4月に高岡市と締結した「企業の森づくり」の一環として、とやま・ふくおか家族旅行村（富山県高岡市）の山林に毎年500本程度の苗木を5年間植樹。その後10年間維持管理を継続し、計15年で約2500本の苗木の育成を目指します。

【本資料に関する注意事項】

本資料に記載されている内容には、三協立山株式会社及び連結子会社(以下、総称して「三協立山グループ」という)の計画、戦略、業績などの将来の見通しに関する記述が含まれています。これらの記述は、現時点での入手可能な情報から得られた三協立山グループの仮定や判断に基づくものであり、これには既知または未知のリスク、不確実性及びその他の要因が内在しています。それらの影響により三協立山グループの実際の業績、事業活動、財務状況は、これらの見通しと大きく異なる場合があります。また、新たな情報、将来の事象、その他にかかわらず、三協立山グループが将来の見通しに関する記述を見直すとは限りません。なお、業績など実際の結果に影響を与えるリスク、不確実性及びその他の要因としては、三協立山グループの事業領域を取り巻く経済情勢、三協立山グループの製品やサービスの需要動向の変化や価格競争の激化、アルミ地金等の価格変動が挙げられますが、これらに限られるものではありません。

本資料の複製・転載はお断りします。